

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産研究費

事業名【新】水産研究所照明器具設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 水産研究所 総務課 電話番号：0586-89-6351

E-mail：c24101@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,174 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,174	0	0	0	0	0	0	0	2,174
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

水産研究所本所は、平成16年11月に建設され18年が経過している。現在使用している照明器具は蛍光灯及び水銀であり、LED照明器具を使用した場合と比較すると、消費電力及び電気料金が高くかかる。また、使用寿命が短く、照明器具の交換頻度が高い状況である。県有施設中長期化保全計画において照明器具の更新サイクルは20年とされている。

(2) 事業内容

水産研究所本所の照明器具設備改修について令和6年度当初予算により実施設計費等を計上し、令和7年度に工事費等を計上する。

- ・実施設計委託費 2,159千円
- ・事務費 15千円

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10 (県公用施設であるため)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	8	事務費
消耗品費	6	事務費
燃料費	1	事務費
委託料	2,159	本所照明器具設備改修工事設計委託
合計	2,174	

決定額の考え方

県全体の長寿命化予算平準化の観点から、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画

(2) 後年度の財政負担

令和6年度の実施設計を基に、改修事業費を算定する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 建築物の改修サイクルに沿った電気設備改修を行い、施設の機能保全を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由
 数値による指標が困難なため

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % ・取組内容と成果を記載してください。
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % 令和7年度当初予算にて追加
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

施設の改修サイクルに合わせた改修を行い建物の長寿命化を図るとともに、早期に修繕を実施する。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

実施設計に基づいた改修工事を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など